

チャレンジ工房News

第 4 号

平成 23 年 7 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々

～ 地域の人たちとの輪ができてきています ～



4月の開所式から3ヶ月が過ぎ、少しずつ地域住民の方々、近隣の福祉サービス事業所や企業の方々に、「近くにパソコンのことを総合的にサポートしてくれるパソコン工房があるらしい」と工房の存在が知られつつあり、近隣の介護サービス事業所より「プリンターの調

子が悪いから見てほしい」と問い合わせがあったり、また地域の方が飛び込みで来られて、「マウスが動かなくなっていて困っているのだけど…」「マウスも消耗品の1つなので長年使っておられたらコードとかの接触が悪くなっていると思うので、安いマウスでも新しく買い替わられたらどうですか」とアドバイスさせて頂いた数時間後、再びその方が来所して下さり、「マウスを買い替えてみたらちゃんと動くようになったわ。ありがとう」とお礼に家のお庭で作られているアジサイの花と缶コーヒーなどの飲み物の差し入れを頂きました。

隣近所の方や工房の隣の会社で勤めておられている方で「仕事でword・Excelを使わないといけなくなったのだけど、パソコンは全く初心者だから教えてもらえないか」と尋ねて来られたり、設立時に物件の斡旋等でお世話になった有安不動産より開所祝いとして、工房駐車場にある掲示板を寄贈して頂き、それに当機関誌「チャレンジ工房 News」を掲示していたら、通りすがりの方が見て下さり、嬉しいことに実際に立ち寄ってくださる方もいます。

このような地域の方々との結び付きを大切にしていき、私たちが設立当初より目標にしている「地域に根ざした愛されるセンター」となれるように、日頃より所員の皆さんとより良いセンター作りを進めていきたいです。



尼崎市・神戸市より本年度の1回目の運営補助金が下りました・・・

当工房は、障害者自立支援法に基づく市町村支援事業の地域活動支援センター事業に準じ、運営費はすべて国・県・尼崎(他市から利用者が通所する場合はその市が人数に応じて負担)からの年間816万の補助金により運営しています。年間816万の補助金は、6月・8月・11月・2月の年4回に分けて支給され、今回尼崎市より、初期新設費用200万も合わせて404万、神戸市より13,5万の補助金が支給されました。

スタッフ一同、親兄弟知人の治めた税金を使って、工房を運営していることを肝に銘じて、運営していきたいと思っております。

阪神特別支援学校より実習生がきました・・・

6/6(月)～6/10(金)の5日間、阪神特別支援学校より高等部3年生のHさんが工房に体験実習に来てくれました。

Hさんには、主にwordでのデータ入力・文書作成・ワードアート作成の作業をして貰いました。

こつこつとパソコンに向かわれてされておられ、特にワードアートを作成する作業は、楽しそうに作っていて、課題の他にもHさんオリジナルのワードアートもいっぱい作られていました。

最終日に体験実習期間の「皆勤賞」をHさん自身に作ってもらい、ラミネート加工をし、所長印を押して、保護者の方、学校の先生来て頂いての終了式の時、「5日間元気で皆勤されたこと」を表彰しました。

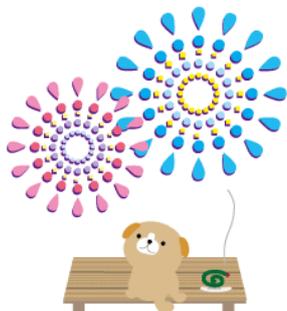
Hさんよりの実習の感想文

パソコン工房チャレンジでの実習めちゃめちゃ楽しかった。

昼休みのとき、他の所員さんと話が盛り上がり、マウスのともだちをしたり、好きな嵐やAKB48の歌を聞いたりして楽しかった。

ワードアートは、自分の名前を入れて作りました。

また、夏休み優しい所員さんに会いにパソコン工房へ行きたいです。



夏期休業のお知らせ

夏場の一番暑いとされているお盆前後 8/12(金)～8/21(日)の10間、所員・スタッフとともに心身のリフレッシュを図ることを目的とした夏期休業を取らせて頂きます。

休み明けは、8/22(月)より開所します。



納涼カラオケ大会のご案内

今月の工房内レクリエーションとして、25日(月)に納涼カラオケ大会を企画しています。

当日は、工房の掲示板に「地域の方、飛び入り参加歓迎」というポスターを作り掲示し、地域の方々にも気軽に来て頂きたいと思っています。

- ・時間 13:00～15:00
- ・参加費 500円
(飲み物・軽食代)



工場見学に行ってきました・・・

6/15日に森永製菓 塚口工場に行ってきました。

塚口工場は、森永製菓で一番最初にできた工場らしく、主にクッキー・チョコレート・キャンディなどを生産されているようです。

当日は、マリークッキーの製造工程を見学し、森永製菓についての説明を受けた後、帰りに森永製菓の正門前で記念撮影をしました。

